

いのちの電話市民講座

2015年2月7日(土)

流水の伝言

アザラシの赤ちゃんと地球温暖化



社会福祉法人 愛知いのちの電話協会 主催

講師：小原 玲 氏（動物写真家）

堀田 あけみ氏（作家・椋山女学園大学准教授）

日時：2015年2月7日(土) 14:00～16:00(13:30 開場)

会場：今池ガスビル 7階B会議室

名古屋市千種区今池 地下鉄東山線・桜通り線今池駅 10番出口直結

参加費：無料 定員200人先着順

お申し込みは

愛知いのちの電話協会 事務局

TEL:052-508-8381

FAX:052-508-8384

Eメール：info@nagoya-inochi.jp

講師紹介



動物写真家
小原 玲 氏

1961年東京都生まれ。群馬県立前橋高校卒、茨城大学人文学部社会科学科卒。

フリーランスの報道写真家として日本の週刊誌で活躍した後に、米国の写真通信社 Black Star の契約カメラマンとなる。天安門事件、湾岸戦争、ソマリアの飢餓などを取材。天安門事件の写真では米国 LIFE 誌の The Best of LIFE に選ばれた。アザラシの赤ちゃんとの出会いを契機に動物写真家に転身。アザラシ、マナティ、プレーリードッグ、日本のホタルの写真などで写真集を出版。小学国語の教科書「こころ下」（教育出版）にはシロクマの写真物語が掲載されている。20年以上に及ぶカナダの流氷の取材を通して、地球温暖化による流氷の異変を目撃、それを伝える活動を続けている。

著書、写真集に「流氷の伝言ーアザラシの赤ちゃんが教える地球温暖化」「ほたるの伝言」（教育出版）、「アザラシの赤ちゃん」（文春文庫）など多数。「夢の扉～next door」「奇跡の地球物語」「天才志村どうぶつ園」などテレビ出演も多数。



作家

椋山女学園大学准教授

堀田 あけみ 氏

1964年愛知県生まれ。1981年愛知県立中村高校在学中に『1980 アイコ十六歳』で文藝賞受賞。最年少の受賞者として話題となる。

作家活動に入る一方で、名古屋大学大学院で心理学を専攻し、現在、椋山女学園大学准教授。専門は、発達学習心理学。

主な作品に、「花のもとにて」「愛をする人」（角川書店）「イノセントガール」「唇の、することは。」「発達障害だって大丈夫」（河出書房新社）。

小説の他に、夫である写真家の小原玲との共著、学者としての専門性と実際に発達障害の息子を育てる経験を活かした著書多数。発達障害支援に関する講演、セミナーにも力を入れている。

いのちの電話とは

自殺予防を目的として、1953年ロンドンで電話相談「サマリタンズ」が始まり、その活動が全世界に広まり、1971年と東京で「いのちの電話」が創設されました。いのちの電話の使命は「自殺」を予防することです。わが国では自殺者が多く、1998年以来3万人を越えるなど「いのちの電話」の役割はますます重要なものとなっています。「日本いのちの電話連盟」のもと、加盟団体は現在49センターになりました。

愛知いのちの電話協会は1985年7月1日、全国19番目のいのちの電話として発足し、年中無休、24時間体制で電話相談活動を行っています。相談件数は年間約2万件で推移しています。